

方針と重点	市の基本施策	学校の教育目標	資質・能力を育てたい	基本施策との関わり	本年度新たな学校の重点	具体的な実践内容または観点 (手立てとしてどうか、または達成度はどうか)	評価 A S D	分析と改善点	
方針・重点 ・未来社会を創造する ・一歩踏み出し乗り越え挑戦し続ける子 ・ICT教育	⑤安全・安心で快適な学校環境の整備 ④DXを地域で実践する ③学校の関係者の協働による郷土教育の推進 ②子ども、自己実現を支える教育の推進 ①豊かな心、健康な体力、確かな学力を育み、生きて働く力を身に付ける教育の推進	あたたかい心の花をさかせ 自分づくりをすすめる子	年度末アンケートより 自分から考え、よりよく判断し、続ける力 100%	自分からつくる・チャレンジ	①② 3つの自慢(聞く話す・掃除・歌声) 2つの習慣(あいさつ・くつそろえ)にチャレンジ 自治的活動を推進する	1)自治的活動の意味を理解し、進んで取り組むとともに、よりよい方法を考えながら自治的活動に取り組む。 児童アンケート「学校が楽しい」90%以上	A	・6年生が中心となり、自分たちから考え、意欲的な活動ができた。「3つの自慢・2つの習慣」を中心に、各委員会が目指す姿を示し、よりよくなるための活動に取り組んだ。 児童アンケートで「学校が楽しい」と回答した児童94.2% ・「なりたい自分」の振り返りを全校児童がタブレットでプレゼンをして家族に伝えるなど、家庭と連携し、めあてに向かって取り組むことができた。児童アンケートで「なりたい自分に向かって努力できた」と回答した児童99% ・生活と学習の目標を設定し、4つのステージごとに全校集会で各指導部長から評価と目標について話した。委員会とも連携して全校が同じ方向を向いて取り組むことができた。	
				②	自分で決めて挑戦する	1)「なりたい自分」に向かい、自分で決めたことに挑戦し続けるたくましさを育成する。 児童アンケート「なりたい自分に向かい自分から努力できた」100%	A		
				①②	基礎基本をみがく	1)4ステージごとの生活・学習目標を設定し、半期ごとに振り返り、評価の積み上げを行う。	A		
				自分からたかめる	①②	思考力判断力表現力をたかめる	1)全国学力・学習状況調査平均正答率、県平均以上を目指す。 2)家庭と学校が連携協力する「花さかウィーク」を年2回実施し、「わかる」を実感する取り組みを目指す。	B	・家庭と学校が連携、協力をする学習期間(花さかウィーク)の取り組みを通して、めあてと計画を自己決定し、家庭学習に自分から取り組むことができた。 ・研修主事を中心とし、職員が必要としていることを計画的に研修し、授業力向上を目指した。ICT教育においては使いやすいアプリを、初任者等が自発的に紹介をするなどそれぞれの良さが生きる研修となった。 ・公開授業を通し、全職員で研究を進めることができた。児童アンケートで「授業が分かる」と回答した児童92.3% ・これまで積み上げてきた地域の人材バンクを活用し、各教科で地域講師から学ぶ学校独自のカリキュラムを推進することができた。また、児童が様々な形で情報発信ができた。
					①④	校内研究体制の充実	1)教科専門性を高める教材研究を行う。 2)研修主事が中心となりメンターチームごとに自発的・計画的な研修を行い、教師の授業力アップを目指す。 3)ICT教育の充実を図る。	A	
					③④	地域の教育力を最大限に生かし、開かれた教育課程の実践を行い、地域社会へ発信する	1)地域の方の講話、地域での体験活動、伝統文化について学ぶ場を設定するとともに、地域への発信を行う。	A	
				自分から認め活かす	①②③	学びに向かう力・人間性を活かす	1)年2回親子学習会を行い、学校や家庭において学んだことを活かすことができる。	B	・親子学習会を行い、健康や睡眠、食育や命の大切さなどについて親子で考えることができた。 ・まちづくり協議会防災部の方々から毎年各学年段階的に防災について学んでいる。自分の命を守るためにできることなどを学ぶことができた。 ・地域の方々に感謝の気持ちを伝える活動「ありがとう活動」を通して、地域に支えていただいていることに気づき、感謝の気持ちを行動に移すことができた。 ・育友会主催講演会「マジックショー」を通して、キャリア教育について全校で学ぶことができた。 ・児童アンケートで「自分にはよいところがある」と回答した児童99%
					①③⑤	いつでもどこでも身に付けた力を活かす	1)「自分の命を自分で守る」ために、学校・地域が一体となった防災教育を進める。 2)お世話になった方に感謝の気持ちを伝え、お互いの喜びにつなげる場を設定する。	A	
					①②③④	学びを生活の場で活用する	1)ねらいを明確にし、行事や集会等、めあて達成のための工夫を考えて、取り組む指導を行う。 児童アンケート「自分にはよいところがある」90%以上	A	

学校運営協議会における主な評価内容

・子どもたちがずいぶん落ち着いて生活や学習ができている。一斉授業ではなく、児童が主体的に学び合っている姿に感動を覚えた。ICTだけに頼らず、程よく使っていることもよい。
・子どもたちが安心して過ごせている様子が見られた。いろいろな子どもたちがいるが、学校や先生が居場所となっている。
・学校と地域が連携しながら教育活動が行われており、防災教育など必要な学びが行われている。□